

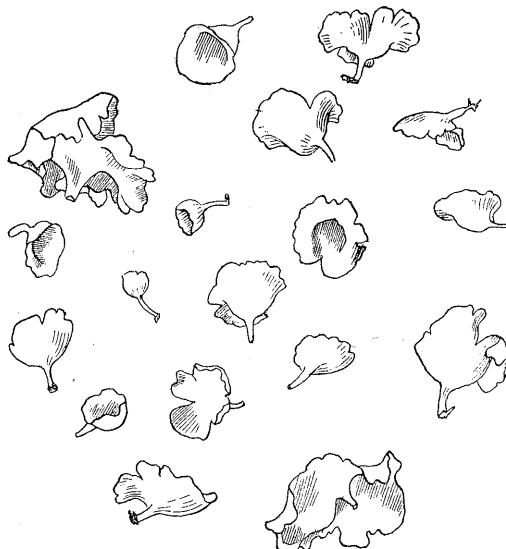
○薈軒獨語 (其十九)

蓄軒朝比奈泰彥

○II種ノうすたけ科 (Thelephoraceae) 菌、一、ふうりんたけ

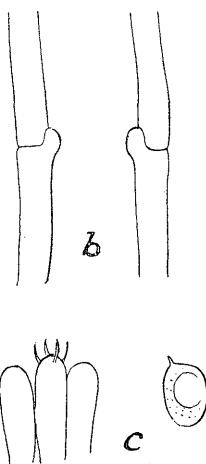
(経方寫生)

a

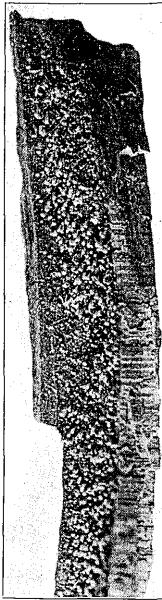
I 圖ノ甲 ふうりんたけ (Cyphella sp.) の各種發育
ノ程度ヲ異ニセルモノ a. 全形 (1/1)

大正十四年八月三十日大磯高麗山ニ植物ヲ採集シ I 圖ノ

如キ菌ヲ得之ヲ酒精漬標本トシテ保存セリ、此菌ハ地上ニ群生シ生時新鮮ナルモノハ内外共ニ殆ド純白色ニシテ

肉質初メハ鐘形ヲナシ底部ハ斜メニ伸長シテ柄トナル、
口徑〇・五乃至一「セ、メ」ニ及ブ外面ハ殆ド平滑又ハ僅ニ粗糙ナリ内面ハ平滑ニシテ子實層ヲ形成シ老熟スレバ
周邊大ニ開展シテ波狀ノ邊緣反卷シ又全體僅ニ黃褐色ヲ
帶ブルニ至ル、子實層ニハ刺毛體 Cystidien ヲ缺キ擔子I 圖ノ乙 ふうりんたけ
(Cyphella sp.)b. 子實下層ノ有鉤細胞
(擴大)

c. 擔子細胞ト胞子 (擴大)

II圖ノ甲 (Solenia sp.)

昭和二年八月ニ久内清孝君ハ又大磯ノ高麗山ニ游ビ見
馴レザル一菌ヲ採集シテ予ニ示シタ、其菌(II圖)ハ枯
本邦ニ未ダ記載サレザリシモノト認ム

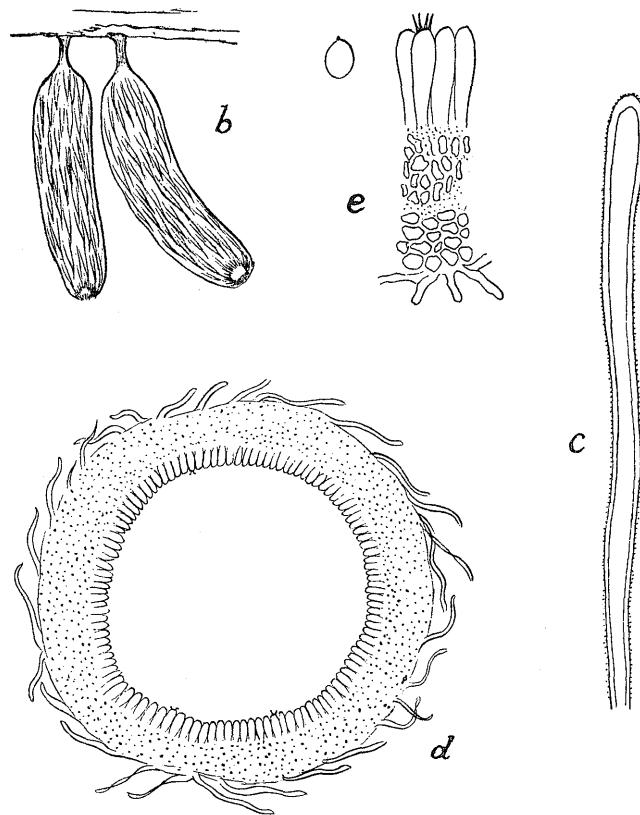
○同 二、くだたけ

細胞ハ圓筒狀又ハ短棍棒狀ニシテ四ケノ柄ヲ具ヘ胞子ハ無色ニシテ略ボ橢圓形ヲナシ短嘴ヲ有ス大サ7-8×5-6
ムアリ子實下層ノ細胞ハ薄膜性ニシテ顯著ナル有鈎細胞ヨリナル、本菌ノ形體ヨリシテ「ぼたけ科」ノ Cyphella
屬ノモノタル事ハ確ナルガ其種名ハ未定ナリ、和名ヲふうりんたけ(風鈴茸)ト命名シ置カン、最近出版セラ
レタル白井、原兩氏訂正増補日本菌類目錄第三版第一二二頁ヲ見ル、C. pendula SCHWAEGR, C. digitata (ALB.
ET. SCHW.) Fr., C. epileuca BERK. ET CURT. ノ三種ヲ掲ゲタリ此第一ノモノハ日本文献ノ出所ヲ掲ゲズ SAC-
CARDO ノ菌目錄第六卷ノ記載ヲ見ルニ其色淡墨色 Cinereo-fusca ムアルヲ以テ本種ト異ル又第二ハ日本文献ノ
出所タル植物學雜誌第三十卷第三百五十六號第二四〇頁安田篤氏菌類雜記(第五四)ニ和名こぶしたけ(拳茸)ニ
リナリ此點ハ菌類目錄第二版ノ方ガ正シ而シテ RABENHORST's Kryptogamen-Flora 第1卷 WINTER 著菌部第三
一九頁ニアル圖ト其記載並ニ MIGULA Kryptogamen Flora 第1卷1類第一一〇頁ノ Cyphella Digitalis ノ記載
トヲ讀ミ合セルト外面褐色ヲナスコト縫皺アルコト及胞子ガ球形ニ近ク徑 12 μ ナルトハ吾人ノふうりんた
けト一致セズ安田氏ノ記載ハ更ニ異ルモノニシテ恐クハ C. Digitalis 以外ノモノヲ指シ居ルナルベシ、第三ノ
C. epileuca BERK. ET CURT. ハ安田篤氏著植物學各論隱花部第四七八頁ニびんろうじだけトシテ掲ゲアリ別ニ
詳シキ記載ヲ缺ク、今之ヲ SACCARDO 氏菌目錄第六卷第六八〇頁ニ就テ見ルニ外形鞣皮褐色ヲ呈ストアルニヨ
(鑑別標記) (II圖)

(鑑別標記)

(II圖)

リ全ク異物ナリ、從テ余ノ命名シタルふうりんたけハ



(参考寫生)

II 圖ノ丙くだたけ (*Solenia* sp.)

b. 二箇ノ子實體 ($\times 25$)
 c. 外面ノ毛茸 (擴大)
 d. 子實體ノ横断 (擴大)
 e. 子實層ト胞子 (擴大)

死セル木材ノ表面ニ群生セル
 小サキ管ノ如キモノデ長サ一
 「ミ、メ」前後、幅〇・三一
 ○・五「ミ、メ」許リアリ、短柄
 ニヨリテ基物ニ着生シ外面ニ
 ハ黄褐色ノ毛(徑三 μ 程)ヲ密
 生スル、管ノ内面ハ平坦ニシ
 テ白色、全面子實層ヲナシ密
 ニ排列セル擔子細胞ハ棍棒狀
 ヲナシ幅六 \times 長十二 μ 四箇ノ
 柄ヲ生ズル、刺毛體ハ無イ、
 胞子ハ椭圓形デ短嘴ヲ有シ
 トうすたけ科ノ *Solenia* 屬ノ
 モノト思フ、シカモ *Solenia*
 ochracea HOFFMANN. ノ記載
 ニ可ナリ近似シテ居ルガ其實
 物ヲ見ナイカラ決定ハデキナ

ひらたけトむきたけトハ別物ナリ



(諸方寄生)

II 圖ノ乙くだたけ (*Solenia* sp.)

a. 自然着生ノ状態 (x10)

イ、ソレニア属ノ菌ハ未ダ一ツモ吾國ニ「レコード」サレナイノデアル、ソコデ本菌ノ和名ヲ「くだたけト呼ンデ置カウ

○ひらたけトむきたけトハ別物ナリ

理學博士 川村清一

ひらたけ (*Pleurotus ostreatus* Jacq.) ノ異名トシテ
むきたけトあはびたけトガアルコトハ明治三十九年
七月敬業社發行ノ新撰日本植物圖說、隱花類部ニ第
三圖版トシテひらたけヲ圖示解説シテアル中ニ記シ
テアルノガ元デ爾來此異名ガ蹈襲サレテキル

右ノ新撰日本植物圖說ニ記サレテキルひらたけノ解
説中ニハ「通例蓋ノ上皮ヲ剥ギ柔キ内部ノ肉ヲ食用
トス故ニむきたけノ名アリ其味淡甘滑美頗ルあはび
ニ似タリ故ニあわびたけト云フ」、トアルノデ其異名

ノ意味ハ明瞭デアルガ、私ガ明治四十二年十月長野縣石隱山中デ採集シタモノ、明治四十四年十月青森縣十和田
湖附近デ採集シタモノ等ハ何レモぶなノ朽樹ニ生じ一見ひらたけノヤウデアルガ全ク異ル種類デ土地ノ人モ之
ヲひらたけト區別シテむきたけト稱シひらたけノ上皮ハ餘リヨクハ剥ゲナイガ此方ハ上皮ガ剥ゲ易イカラ特ニ
むきたけト云フト土地ノ人カラ説明ヲ聞イタ許リデナク之ヲ自ラ實驗シ且試食シテ其美味ヲ賞シタコトガアツ